



## <CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

2019年6月14日

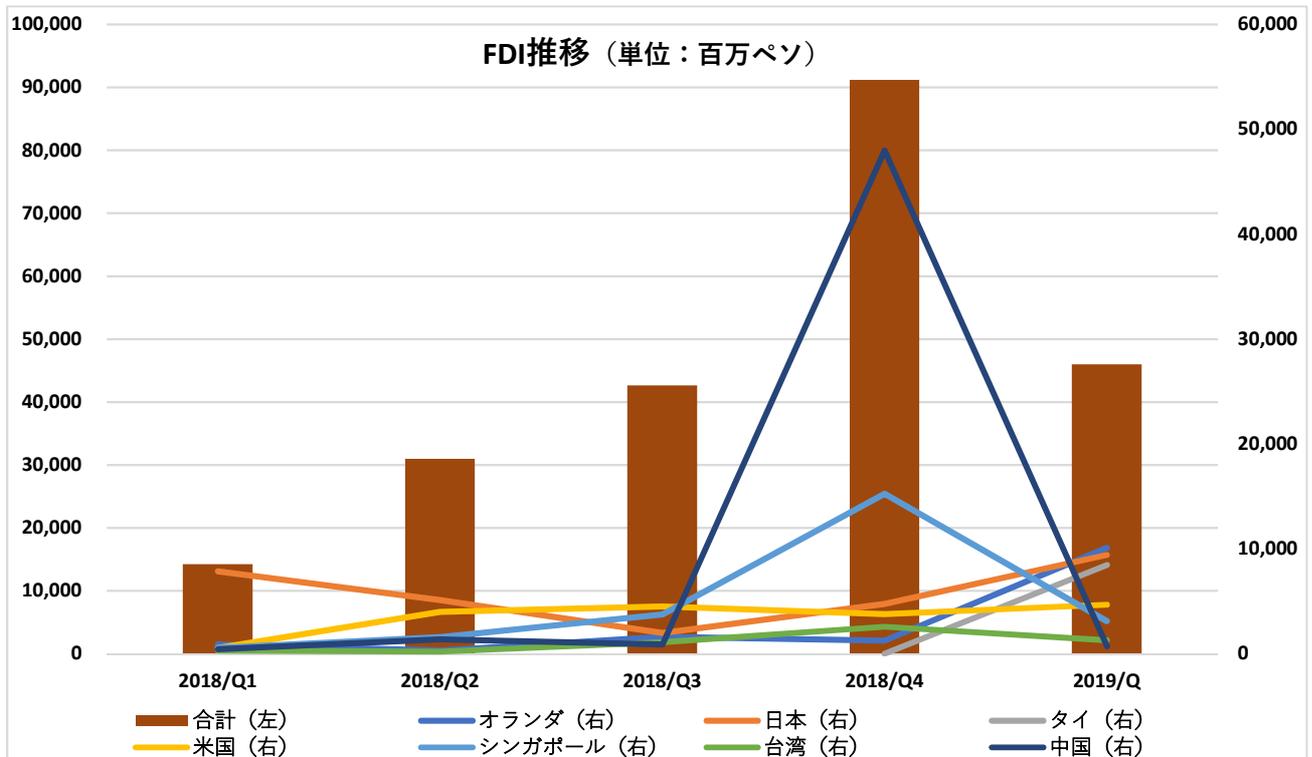
### フィリピンの FDI

フィリピン統計庁（PSA）によると、2019年第1四半期の外国直接投資認可額は、前年同期比で3倍強の459億8,400万ペソ（約966億円）となった（昨年2018年は、通年で前年比69.2%増の1,790億ペソ（約3,759億円）であった）。

国・地域別では、オランダが全体の22.0%を占めて首位。2位はシェア20.5%の日本、3位はシェア18.4%のタイ、4位はシェア10.2%の米国であった。なお、2018年11月の習近平国家主席のフィリピン訪問時にインフラ・資源関連プロジェクトの覚書が交わされたことで、2018年に中国は1位であったが2019年第1四半期は7位にとどまった。

業種別では、製造業が350億400万ペソのシェア76.1%で首位。2位は35億2,740万ペソの管理・ビジネス支援サービス業（シェア7.7%）、3位が宿泊・飲食サービス業で29億3,100万ペソ（シェア6.4%）、4位が不動産で23億1,760万ペソ（シェア5.0%）であった。同4分野で全体の95.2%を占めた。

（1フィリピンペソは約2.1円）



出所：PSA

以上